M-AUDIO

Axiom® DirectLink for Logic Pro
ユーザー・ガイド

法的通知

This guide is copyrighted ©2010 by Avid Technology, Inc., with all rights reserved.
著作権法に基づき、Avid Technology, Inc. の書面による許可なく、本ガイドの全部または一部を複製を作成することを禁じます。

Avid、Axiom、DirectLink、および M-Audio は Avid Technology, Inc. の商標または登録商標です。文中に記載されているその他の商標はすべて各社の登録商標です。

製品の機能、仕様、システム要件、および販売に関しては、予告なく変更される場合があります。

ガイド・パーツ・ナンバー 9329-65025-00 REV A 6/10

文書フィードバック

弊社は常に取扱説明書の品質の向上に努めています。弊社マニュアルに関するご意見、訂正、またはご提案がありましたら、***techpubs@avid.com*** まで電子メールをお送りください。

目次

第 1 章 . はじめに 4
DirectLink の要件 5

第 2 章 . インストールと設定 6

第 3 章 . DirectLink の Axiom コントロール 7

第 4 章 . ［インストゥルメント］（Instrument）モード 12
［インストゥルメント］モードを設定する 12
［インストゥルメント］（Instrument）モードを使用する 12

付録 A. DirectLink コントロール割り当て 14

第 1 章 はじめに

このガイドは、Axiom® コントロールを Logic Pro 9.1 以降の共通の機能に自動的にマッピングする DirectLink について説明しています。DirectLink は、Axiom を「専用」ハードウェア・コントローラのようにする統合レベルのある 2 つの明確な操作モードを備え、Logic Pro との双方向のコミュニケーションを実現します。

Logic Pro が起動されると、DirectLink はデフォルト状態の［ミキサー・モード］（Mixer Mode）で有効になります。［ミキサー・モード］の場合、Axiom フェーダー、ボタンおよびノブは第 3 章「DirectLink の Axiom コントロール」で説明しているようにパン、トラック選択、ミュート、ソロ、レコードアーム、トラックやマスター・チャンネル・ボリュームなどの Logic Pro ミキサー機能にマッピングされます。

［ミキサー・モード］は Logic Pro Mixer を効果的にコントロールしますが、Axiom DirectLink もセッションでバーチャル・インストゥルメントを直接コントロールできます。プロジェクト内でバーチャル・インストゥルメントをコントロールする最初の手順は、専用トラック「<」および「>」ボタンを使用して「ターゲット」トラックを選択することです。

ターゲット・トラックは Axiom がコントロールするトラックを判定します。ターゲット・トラックにバーチャル・インストゥルメントがある場合、［インストゥルメント］（Inst）ボタンを押すと、そのインストゥルメントのデフォルトの「マップ」ファイルを基準にすべての Axiom コントロールを最も便利なパラメータにマッピングします。各 Logic インストゥルメントには対応する Axiom インストゥルメント・マップがあります。Axiom インストゥルメント・マップは www.m-audio.com/drivers からダウンロードしてインストールできます。Axiom インストゥルメント・マップについての詳細は第 4 章「［インストゥルメント］（Instrument）モード」からも入手できます。

DirectLink が［インストゥルメント］（Instrument）モードかどうかにかかわらず、［インストゥルメント］ボタンは点灯し、インストゥルメントをコントロールしていることを確認します。［パッチアップ］（Patch Up）および［パッチダウン］（Patch Down）ボタンを押すと、対象インストゥルメントでサウンドをオーディションして選択するためにパッチ間を移動できます。［トラック］（Track）ボタンを押すと、隣接するトラックをターゲットにするため、1 つのインストゥルメントから別のインストゥルメントに切り替えることができます。

［インストゥルメント］ボタンを 2 回押すと、Axiom が［ミキサー］（Mixer）モードになります。［インストゥルメント］モードでは、Shift ボタンを押したまま［インストゥルメント］ボタンを押すと、バーチャル・インストゥルメント・ウィンドウが開きます。これにより、マッピングされた Axiom コントロールが使用されるため、画面に表示されるコントロールの更新をリアルタイムで参照できます。Shift ボタンを押しながら［インストゥルメント］ボタンを再度押すと、［インストゥルメント］ウィンドウが閉じます。

［インストゥルメント］モードは［Axiom トランスポート］（Axiom Transport）ボタンには影響を与えず、Logic Pro の相手にマッピングされたままになります。

この章では、Axiom で DirectLink を使用することにより、ワークフローをどのように向上させることができるか説明していますが、この『ユーザー・ガイド』の残りも注意してお読みください。Axiom ユーザー・ガイドと合わせて、Logic Pro で Axiom Keyboard を最大限活用する方法について説明します。

DirectLink の要件

システム要件

最新のシステム要件については、www.m-audio.com をご覧ください。

Logic Pro ソフトウェア

DirectLink にはバージョン 9.1 以降の Logic Pro が必要です。Logic Pro のそれ以前のバージョンは DirectLink をサポートしません。Logic Pro ソフトウェアをアップグレードするための詳細については、http://www.apple.com をご覧ください。

Axiom ハードウェア

DirectLink では、Axiom がホスト・コンピュータに接続されている必要があり、このガイドではプロセスがすべて完了していることを前提としています。インストールと接続手順は『Axiom ユーザーガイド』に説明があります。

⚠ *適格なレコーディング・アプリケーションのリストと現在のドライバ、追加 DirectLink インストーラ、およびユーザー・ガイドについては、www.m-audio.com にあります。*

第 2 章 インストールと設定

DirectLink のインストールを開始する前に、Axiom がホスト・コンピュータに接続され、Logic Pro が起動していないことを確認してください。以下の手順ではいつ Logic Pro を起動すべきか示します。

DirectLink をインストールし、Logic Pro を設定するには：

1 Logic Pro 用の最新の DirectLink インストーラを www.m-audio.com/drivers からダウンロードします。

2 インストーラ・アイコンをダブルクリックして画面上の指示に従います。

3 インストールが完了したら、Logic Pro を起動します。

4 ［Logic Pro］メニュー＞［環境設定］＞コントロール・サーフェス＞［設定］の順に選択します。

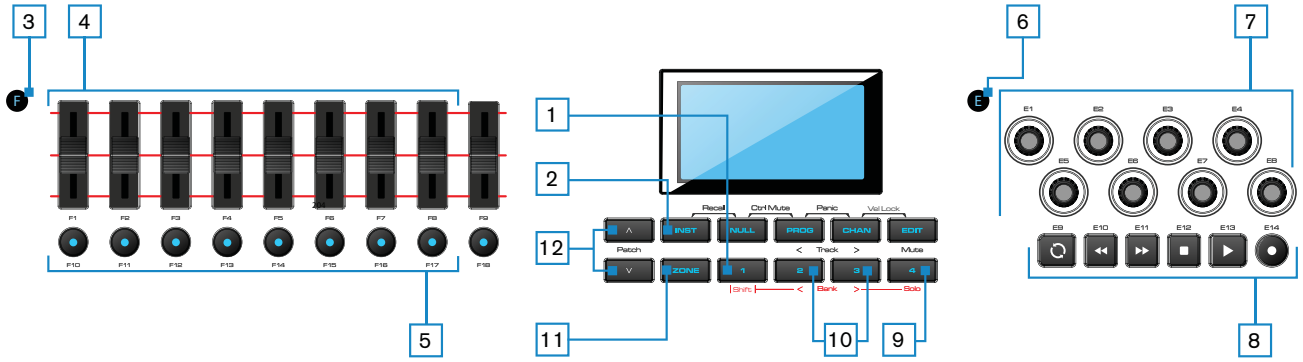
5 ［新規］を選択して「Axiom」（Axiom 49 または 61 の場合）または「Axiom 25」を必要に応じてダブルクリックします。

6 ［コントロール・サーフェス］ウインドウを閉じます。

7 Axiom は［DirectLink］モードとなり、Logic Pro をコントロールできるようになります。

Logic Pro が起動されるたびに、DirectLink は自動的に Axiom コントロールを起動してマッピングします。

第 3 章 DirectLink の Axiom コントロール



この章では、DirectLink で Logic Pro の適格バージョンをコントロールする場合の Axiom コントロールの動作について説明します。該当する場合、［ミキサー］（Mixer）モードと［インストゥルメント］（Instrument）モードの両方について説明します。

1 ［Shift］ボタン

この章で後述するように、このボタンは［フェーダー］（Faders）ノブおよび［エンコーダー］（Encoder）ノブ、［インストゥルメント］（Instrument）ボタン、さらには［ミュート］（Mute）および［トラック］（Track）（< および >）ボタンの代替機能にアクセスするために使用されます。

2 ［インストゥルメント］（Inst）ボタン

DirectLink は次に説明するように 2 つの異なる操作モードを提供します。

［ミキサー］（Mixer）モード

これは、Axiom のフェーダー・ノブ、エンコーダー・ノブとデフォルトのフェーダー・ボタンを対応する Logic Pro ミキサー機能にマッピングする DirectLink モードです。

マッピングされた Axiom コントロールが使用されると、そのパラメータ割り当てと数値または位置の値が LCD 画面に表示されます。1 秒後に画面がトラック名に戻ります。

［インストゥルメント］ボタンを押すと、Axiom コントロールが［インストゥルメント］モードになります。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

［インストゥルメント］（Inst）ボタンを押すと、［インストゥルメント］モードが選択されます。LCD 画面はコントロールされているインストゥルメント名を一時的に表示し、ターゲット・トラックの名前を元に戻します。これは、Axiom フェーダー、フェーダーボタン、エンコーダー・ノブを Logic Pro プロジェクトでターゲット・トラック内のインストゥルメント・パラメータにマッピングします。

⚠ *ターゲット・トラックは MIDI ノート記録先を指定し、Axiom キーボードから送信されるデータをコントロールします。*

マッピングされた Axiom コントロールが使用されると、そのパラメータ割り当てと数値または位置の値が LCD 画面に表示されます。1 秒後に画面がトラック名に戻ります。

［インストゥルメント］ボタンを押すと、Axiom が［ミキサー］モードに戻ります。［インストゥルメント］モードの場合、［Shift］ボタンを押しながら［インストゥルメント］ボタンを押すと、アクティブなインストゥルメントのウィンドウが開きます。

⚠ *［Axiom トランスポート］、［シフト］、［トラック選択］および［ミュート / ソロ］ボタンは［インストゥルメント］ボタンの影響は受けず、［ミキサー］および［インストゥルメント］モードでの割り当てを保持します。*

3 ［グループ F］（Group F）ボタン

［グループ F］ボタンはデフォルトで点灯し、9 つのすべての Axiom フェーダーと［フェーダー］ボタン（F1 ～ 18）が DirectLink モードになっていることを示します。このボタンが押されると、点灯しなくなり、フェーダーとボタンが DirectLink 割り当てから解除され、アクティブなパッチに従ってマッピングされます。

［グループ F］ボタンを再度押すと、すべてのコントロールが DirectLink 割り当てに戻ります。このボタンが点灯すると、グループが DirectLink モードにあることを確認します。

4 フェーダー

［ミキサー］モード（デフォルト）

Axiom 49 と 61 では、最初の 8 つのフェーダー（F1 ～ F8）は 8 つのトラックに現在選択されているバンクのトラック・ボリュームをコントロールします。アクティブ・バンク（例 1 ～ 8）は次に示すように Logic Pro ミキサーの低い端に合わせて強調表示されています。

最も右のフェーダー（F9）と Axiom 25 の 1 つのフェーダーは Logic Pro プロジェクトのマスター・フェーダーにマッピングします。

Axiom フェーダーが移動されると、現在の機能またはパラメータ割り当てとその値が LCD 画面に表示されます。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

フェーダーはターゲット・トラック内のバーチャル・インストゥルメントにパラメータをマッピングします。

Axiom フェーダーが移動されると、現在の機能またはパラメータ割り当てとその値が LCD 画面に表示されます。

［Shift］ボタンを押しながら Axiom フェーダーを移動すると、現在のパラメータ割り当てと値を参照または「覗く」ことができます。

5 ［フェーダー］（Fader）ボタン

［ミキサー］モード（デフォルト）

Axiom 49 と 61 では、最初の 8 つのボタン（F10 ～ F17）は Logic Pro で 8 つのトラックに現在選択されているバンクにマッピングされ、デフォルトでそれぞれのボタンが押されると対応するトラックをターゲットにします。

最も右のボタン（F18）を押すと、F10 ～ F17 のボタンを［ミュート］モードに切り替えます。LCD 画面は「ミュート」を表示し、現在の操作モードを示します。それぞれのボタンは押されると点灯し、対応するトラックがミュートされます。

ボタン F18 をもう一度押すと、ボタン F10 ～ F17 を［ソロ］モードに切り替え、LCD 画面が「ソロ」を表示します。それぞれのボタンは押されると点灯し、対応するトラックがソロになり、その他のすべてがミュートされます。

ボタン F18 を再度押すと、ボタン F10 ～ F17 を［レコード・アーム］モードに切り替え、LCD 画面が「ミュート」を表示します。それぞれのボタンは押されると点灯し、対応するトラックがレコーディングのために配備されたことを示します。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

ボタン F10 ～ F17 はターゲット・トラック内のバーチャル・インストゥルメント・パラメータにマッピングされします。

マッピングされた Axiom ボタンが押されると、現在の機能またはパラメータ割り当てとその値が LCD 画面に表示されます。

フェーダー・ボタン F18 は DirectLink が［インストゥルメント］モードの場合に点灯します。このボタンを押すと、フェーダーと［フェーダー］ボタンを［ミキサー］モードに「反転」させ、エンコーダーが［インストゥルメント］モードのままになります。F18 を再度押すと、フェーダーと［フェーダー］ボタンが［インストゥルメント］モードに戻ります。

6 ［グループ E］（Group E）ボタン

［グループ E］ボタンはデフォルトで点灯し、8 つのすべての Axiom エンコーダー・ノブ（E1 ～ E8）が DirectLink モードになっていることを示します。このボタンが押されると、点灯しなくなり、ノブが DirectLink 割り当てから解除され、現在アクティブなプリセット・パッチに従ってマッピングされます。

［グループ E］ボタンを再度押すと、すべてのコントロールが DirectLink 割り当てに戻ります。このボタンが点灯すると、グループが DirectLink モードにあることを確認します。

⚠ *［グループ E］ボタンを押しても［Axiom トランスポート］ボタンは DirectLink からリリースされません。*

7 ［エンコーダー］（Encoder）ノブ

［ミキサー］（Mixer）モード

Axiom 49 および 61 の場合、［エンコーダ］ノブ（E1 ～ E8）は Logic Pro ミキサーの［パン］ノブをコントロールします。

Axiom 25 の場合、これらのノブは 8 つのトラックに現在選択されているトラック・ボリュームをコントロールします。

ノブが移動されると、LCD 画面が現在のトラック名とパン（Pan）の値を表示します。

［インストゥルメント］（Instrument）モード

エンコーダー・ノブはターゲット・トラック内のバーチャル・インストルメントにパラメータをマッピングします。

LCD 画面はノブが移動されると、現在の機能またはパラメータ割り当てに加えて、現在の値を表示します。

［Shift］ボタンを押しながらコントロールを移動すると、現在のパラメータ割り当てと値を参照または「覗く」ことができます。

8 ［トランスポート］（Transport）ボタン

［ミキサー］モードと［インストゥルメント］モードの両方で、これらのボタンは Logic Pro の対応するボタンにマッピングされ、次に説明する機能をコントロールします。

Rewind - このボタンを押したままにするとボタンを離すまで **Logic Pro** トランスポートを巻き戻します。このボタンを一時的に押すとトランスポートを **1** 回につき **1** つのバーだけ巻き戻します。

［早送り］（Fast Forward）- このボタンを押したままにするとボタンを離すまで Logic Pro トランスポートを早送りします。このボタンを一時的に押すとトランスポートを 1 回につき 1 つのバーだけ早送りします。

［停止］（Stop）- このボタンは再生またはレコーディングを停止します。このボタンを 2 回押すと曲の最初、または Logic が［サイクル］（Cycle）モードで再生またはレコードするように設定されている場合はループ部分の最初にスキップします（以下の「ループ再生」ボタンを参照）。

［再生］（Play）- このボタンは再生またはレコーディングを開始します。

［レコード］（Record）- このボタンは Logic トランスポートの［レコード］ボタンをコントロールします。

［ループ再生］（Loop Play）- ［ループ］ボタンを押すとトランスポートのサイクル機能をオンおよびオフにします。この機能は曲の再生を行い、Logic Pro トランスポートで指定するループ開始点と終了点で複数のテイクをレコードすることができます。

9 ［ミュート］ボタン

［ミキサー］と［インストルメント］モードの両方において、［ミュート］ボタンは次の機能を実行します。

- デフォルトでは、このボタンを押すと、**Logic Pro** セッションのターゲット・トラックをミュートします。
- ［**Shift**］ボタンを押しながらこのボタンを押すと、**Logic Pro** トラックで［ソロ］ボタンをコントロールします。

10 ［トラック］（Track）ボタン

［ミキサー］と［インストルメント］モードの両方において、これらのボタンは Logic Pro セッション内でターゲット・トラックまたは 8 つのトラックのバンクを選択します。

- **トラック選択 -** 左トラック・ボタン（<）はセッションの前のトラックをターゲットにします。たとえば、トラック 2 が現在ターゲットにされている場合、このボタンを押すとトラック 1 をターゲットにします。右トラック・ボタン（>）は次のトラックをターゲットにします。たとえば、トラック 2 が現在ターゲットにされている場合、このボタンを押すとトラック 3 をターゲットにします。LCD 画面にトラック名が表示されます。ターゲットがバーチャル・インストゥルメントのインストゥルメント・トラックの場合、レコーディングのために配備され、キーが押されると、インストゥルメント・サウンドが聴こえます。［インストゥルメント］モードがアクティブな場合、コントロールはターゲット・トラック内のインストゥルメントにマッピングされます。

また、これらのボタンは 8 トラックの中の現在アクティブなバンクの外でトラックをターゲットするのに使用されます。たとえば、トラック 8 が現在ターゲットされていて、> トラックボタンが押されると、トラック 9 がターゲットされます。Axiom フェーダーとその対応するボタンはトラック 9 ～ 16 をコントロールするようになりました。

- **バンク選択 -** ［**Shift**］ボタンを押したままにしていると、左トラック・ボタン（**<**）で **8** つのトラックの前のバンクを選択します。たとえば、トラック **9** ～ **16** のバンクが現在選択されている場合、［**Shift**］を押したままでこのボタンを押すと、トラック **1** ～ **8** のバンクを選択します。右トラック・ボタン（**>**）は **8** つのトラックの次のバンクを選択します。たとえば、トラック **9** ～ **16** のバンクが現在選択されている場合、［**Shift**］を押したままこのボタンを押すと、トラック **17** ～ **24** のバンクを選択します。

11 ［ゾーン］（Zone）ボタン

このボタンは個々の［ゾーン］ボタン（1、2、3、および 4）にアクセスするために使用します。

キーボードを分割または層状にするためにゾーンが使用されます。［ゾーン］ボタンがアクティブな場合、［Shift］、［トラック］および［ミュート］ボタンは DirectLink モードでは機能しません。［ゾーン］ボタンを押すと、これらのボタンが DirectLink に戻ります。

詳細ついては、『Axiom ユーザー・ガイド』の第 7 章「キーボード・ゾーン」を参照してください。

12 ［パッチ］（Patch）ボタン

これらのボタンはアクティブなインストゥルメント・ウィンドウが開いているか非表示の場合に、バーチャル・インストゥルメント・サウンド・パッチを選択するために使用されます。

インストゥルメント・ウィンドウを非表示することは閉じることとは違います。インストゥルメントの非表示またはプラグイン・ウィンドウの詳細については、『Logic ユーザー・ガイド』を参照してください。

第 4 章 ［インストゥルメント］（Instrument）モード

［インストゥルメント］モードは Axiom コントロールを Logic Pro のターゲットされたトラック内のさまざまなバーチャル・インストゥルメント・パラメータにマッピングします。この章では、Logic Pro プロジェクト内で読み込まれたインストゥルメントをコントロールするために DirectLink を設定し使用する方法について説明します。

［インストゥルメント］モードを設定する

次の手順は、［インストゥルメント］モードの設定方法について説明します。Axiom が正しくコンピュータに接続されていることを確認してください。

［インストゥルメント］モードを設定するには：

1 必要に応じて、Logic Pro プロジェクトでインストゥルメント・トラックを作成します。詳細については、『Logic Pro ユーザー・マニュアル』を参照してください。

2 バーチャル・インストゥルメントをインストゥルメント・トラックに読み込みます。

3 ［フェーダー］ボタンまたは［トラック］ボタンのいずれかでトラックを選択します。

4 ［インストゥルメント］（Inst）ボタンを押して DirectLink を［インストゥルメント］モードに切り替えます。ボタンが点灯し、Axiom が［インストゥルメント］モードになることを示します。

5 ［Shift］ボタンを押しながら［インストゥルメント］ボタンを押すと、インストゥルメント・ウィンドウを開いて閉じることができます。

［インストゥルメント］（Instrument）モードを使用する

Axiom インストゥルメント・マップ

Axiom コントロールのデフォルト・マッピング割り当てを定義する Axiom インストゥルメント・マップがそれぞれの Logic バーチャル・インストゥルメントに作成されます。すべての Logic インストーラのマップを含むインストーラは www.m-audio.com/drivers からダウンロードできます。

マップがインストールされると、付録 A:「DirectLink コントロール割り当て」に説明があるように、DirectLink は Axiom コントロールを開いている Logic インストゥルメント内のパラメータに割り当てています。

今後サードパーティ製インストゥルメントのマップがリリースされる予定ですので、DirectLink ウェブページを定期的に確認してください。

DirectLink コントロールの割り当てを変更する

Logic では現時点でインストゥルメントのパラメータ・マッピングを変更する方法はありません。ただし、Logic には強力な MIDI 学習機能があり、以下に説明するように、DirectLink の外部で個別のプラグインに対してパラメータ・マッピングを定義できます。

以下の手順はプロセスの概要を示します。詳細については、『Logic Pro 9 ユーザー・マニュアル』、『Logic Pro コントロール・サーフェス・サポート・ガイド』および『Logic Studio インストゥルメント・ガイド』を参照してください。

Axiom コントロールを再割り当てするには：

1 対応する［グループ］ボタンを押してコントロールを DirectLink からオフにします。エンコーダの［グループ E］ボタンまたはフェーダーの［グループ F］ボタンまたは［フェーダー］ボタンを押します。

2 コンピュータのキーボードの Command + K を押して［コントローラ割り当て］（Controller Assignments）ウィンドウを Logic で開きます。

3 ウィンドウの右下で［学習］（Learn）モードをクリックします。

4 Logic でインストゥルメントのコントロールを移動します。

5 新しいマッピングを発行するために、再割り当てしている Axiom コントロールを移動します。

新しいインストゥルメント・マッピングが Logic の Axiom コントロール・サーフェスに保存されます。ただし、これらのマッピングは Axiom を Logic の［コントロール・サーフェス設定］ダイアログから削除すると失われます。

⚠ *Logic インストゥルメント内で想定されるように常に動作させるために、コントロールを再割り当てする際にアクティブになっていたものと同じ Axiom プリセットをこれ以降は使用する必要があります。*

バーチャル・インストゥルメントをコントロールする

Axiom でインストゥルメント・トラックをターゲットし、［インストゥルメント］モードを有効にすると（7 ページの「［インストゥルメント］（Inst）ボタン」を参照してください）、インストゥルメント名が LCD 画面に表示されます。トラックをターゲットするために［トラック］ボタン（10 ページの「［トラック］（Track）ボタン」を参照してください）が使用された場合、レコーディング用に配備され、キーが押されるとノートが聴こえます。

Logic Pro にはトラックを現在のインストゥルメント・サウンド・パッチに従って名前を付ける自動トラック名機能があります。Axiom のこの LCD 画面にはこの名前が表示され、この場合に LCD には新しいインストゥルメント・サウンド・パッチが選択されると新しいトラック名が表示されます。

💡 *『Logic Pro ユーザー・ガイド』に説明があるように、トラックを再度名前付けすることができます。*

［インストゥルメント］ウィンドウを開く、閉じる

DirectLink が［インストゥルメント］モードの場合に、［Shift］ボタンを押しながら［インストゥルメント］ボタンを押すと、アクティブなインストゥルメントのウィンドウが開いて閉じます。

インストゥルメント・プリセット選択

インストゥルメント・ウィンドウが開いているか非表示の場合に、［Axiom パッチ］ボタンを使用してバーチャル・インストゥルメント内のサウンド・パッチを選択します。

💡 *インストゥルメント・ウィンドウを非表示することは閉じることとは違います。インストゥルメントの非表示またはプラグイン・ウィンドウの詳細については、『Logic ユーザー・ガイド』を参照してください。*

インストゥルメント・パラメータの調整

マッピングされた Axiom コントロールが移動されると、そのパラメータ割り当てと数値または位置の値が LCD 画面に表示されます。1 秒後に画面がトラック名に戻ります。

Axiom コントロールは［インストゥルメント］ボタンを押すといつでも［ミキサー］モードに戻ります。

📖 *Axiom コントロール・タイプとそのインストゥルメント・モード機能の詳細については、第 3 章「DirectLink の Axiom コントロール」を参照してください。*

付録 A: DirectLink コントロール割り当て

下表は、Logic Pro インストゥルメント・マップがインストールされている場合のそれぞれの Logic インストゥルメントに対するデフォルトの DirectLink コントロールの割り当てを示します。

EFM1

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	モジュレーション高調波（Mod Harmonic）
E2	モジュレータ波（Modulator Wave）
E3	FM
E4	FM 固定周波数切り替え（FM Fixed Frequency Toggle）
E5	FM デプス（FM Depth）
E6	キャリア高調波（Carrier Harmonic）
E7	LFO レート（LFO Rate）
E8	LFO レート（LFO Rate）

フェーダー	パラメータ
F1	ボリューム・エンベロープ・アタック（Volume Env Attack）
F2	ボリューム・エンベロープ・ディケイ（Volume Env Decay）
F3	ボリューム・エンベロープ・サステイン（Volume Env Sustain）
F4	ボリューム・エンベロープ・ディケイ（Volume Env Decay）
F4	モジュレーション・エンベロープ・アタック（Mod Env Attack）
F6	モジュレーション・エンベロープ・ディケイ（Mod Env Decay）
F7	モジュレーション・エンベロープ・サステイン（Mod Env Sustain）
F8	モジュレーション・エンベロープ・リリース（Mod Env Release）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	利用不可
F11	利用不可
F12	利用不可
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

ES E

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタ周波数（Filter Frequency）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	AR Int
E4	ベロ・フィルタ（Velo Filter）
E5	波形（Waveform）
E6	Vib/PWM
E7	スピード（Speed）
E8	ベロ・ボリューム（Velo Volume）

フェーダー	パラメータ
F1	アタック（Attack）
F2	リリース（Release）
F3	利用不可
F4	利用不可
F4	利用不可
F6	利用不可
F7	利用不可
F8	利用不可
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	オクターブ（Octave）
F11	コーラス（Chorus）
F12	利用不可
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

ES M

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタのカットオフ（Filter Cutoff）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	フィルタの減衰（Filter Decay）
E4	フィルタの強度（Filter Intensity）
E5	ミックス（Mix）
E6	グライド（Glide）
E7	ボリューム減衰（Volume Decay）
E8	オーバードライブ（Overdrive）

フェーダー	パラメータ
F1	利用不可
F2	利用不可
F3	利用不可
F4	利用不可
F4	利用不可
F6	利用不可
F7	利用不可
F8	利用不可
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	オクターブ（Octave）
F11	利用不可
F12	利用不可
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

ES P

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタのカットオフ（Filter Cutoff）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	コーラス（Chorus）
E4	オーバードライブ（Overdrive）
E5	ビブラート / ワウ（Vibrato/Wah）
E6	スピード（Speed）
E7	ベロ・フィルタ（Velo Filter）
E8	ベロ・ボリューム（Velo Volume）

フェーダー	パラメータ
F1	アタック（Attack）
F2	ディケイ（Decay）
F3	サステイン（Sustain）
F4	リリース（Release）
F4	三角（Triangle）
F6	のこぎり（Sawtooth）
F7	ボックス（Rectangle）
F8	ノイズ（Noise）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	オクターブ（Octave）
F11	VCA モード
F12	利用不可
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

ES 1

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタ周波数（Filter Frequency）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	フィルタ・ドライブ（Filter Drive）
E4	フィルタ・モード（Filter Mode）
E5	波形（Waveform）
E6	サブ・オシレータ波形（Sub Osc Waveform）
E7	LFO 波形（LFO Waveform）
E8	LFO レート（LFO Rate）

フェーダー	パラメータ
F1	エンベロープ・アタック（Env Attack）
F2	エンベロープ・ディケイ（Env Decay）
F3	エンベロープ・サステイン（Env Sustain）
F4	エンベロープ・リリース（Env Release）
F4	グライド
F6	LFO Int 0
F7	Mod Env Int 0
F8	Mod Env Form
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	オクターブ（Octave）
F11	コーラス（Chorus）
F12	VCA モード
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

ES 2

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	MM フィルタのカットオフ（MM Filter Cutoff）
E2	MM フィルタの共振（MM Filter Resonance）
E3	MM フィルタ・モード（MM Filter Mode）
E4	ドライブ（Drive）
E5	LPF カットオフ（LPF Cutoff）
E6	LPF 反響（LPF Resonance）
E7	LPF モード
E8	LPF FM

フェーダー	パラメータ
F1	エンベロープ・アタック（Env3 Attack）
F2	エンベロープ・ディケイ（Env3 Decay）
F3	エンベロープ・サステイン（Env3 Sustain）
F4	エンベロープ・リリース（Env3 Release）
F4	エンベロープ・アタック（ENV2 Attack）
F6	エンベロープ・ディケイ（ENV2 Decay）
F7	エンベロープ・サステイン（ENV2 Sustain）
F8	エンベロープ・リリース（ENV2 Release）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	キーボード・モード
F11	ユニゾン
F12	FX ディストーションの種類（FX Dist Type）
F13	FX モジュレーションの種類（FX Mod Type）
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

EVB3

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	ビブラート（Vibrato）
E2	ビブラート・レート（Vibrato Rate）
E3	コーラス・レート（Chorus Rate）
E4	EQ 低（EQ Low）
E5	EQ 中（EQ Mid）
E6	EQ 高（EQ High）
E7	EQ レベル（EQ Level）
E8	リバーブ（Reverb）

フェーダー	パラメータ
F1	UM 16’
F2	UM 5 -1/3’
F3	UM 8’
F4	UM 4
F4	UM 2 -2/3’
F6	UM 2
F7	UM 1 -3/5’
F8	UM 1 -1/3
F9	UM 1’

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	キャビネット（Cabinet）
F11	ローター・スピード（Rotor Speed）
F12	リバーブ・モード（Reverb Mode）
F13	ビブラート・アッパー（VibratoUpper）
F14	ビブラート・ロワー（Vibrato Lower）
F15	パーカッション（Percussion）
F16	パーカッション・モード（Percussion Mode）
F17	パーカッション・ハーモニック（Percussion Harmonic）
F18	利用不可

EVD6

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	圧縮率（Comp Ratio）
E2	ディストーション・トーン（Dist Tone）
E3	ディストーション・ゲイン（Dist Gain）
E4	モジュレーション FX レート（Mod FX Rate）
E5	モジュレーション FX 強度（Mod FX Intensity）
E6	モジュレーション FX モード（Mod FX Mode）
E7	ワウの範囲（Wah Range）
E8	ワウ・エンベロープ（Wah Envelope）

フェーダー	パラメータ
F1	ストリング・ディケイ（String Decay）
F2	ストリング・リリース（String Release）
F3	ストリング・ダンピング（String Damping）
F4	テンション・モジュレーション（Tension Mod）
F4	ストリングの剛性（String Stiffness）
F6	ストリングの不調和（String Inharmonicity）
F7	ピッチ降下（Pitch Fall）
F8	ブリリアンス（Brilliance）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	ブリリアント（Brilliant）
F11	トレブル（Treble）
F12	中（Medium）
F13	ソフト（Soft）
F14	ピックアップ・モード（Pickup Mode）
F15	ピックアップ CD（Pickup CD）
F16	ピックアップ AB（Pickup AB）
F17	モデル
F18	利用不可

EVOC 20

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタのカットオフ（Filter Cutoff）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	低周波（Low Frequency）
E4	高周波（High Frequency）
E5	共振（Resonance）
E6	フォルマント・ストレッチ（Formant Stretch）
E7	フォルマント・シフト（Formant Shift）
E8	アナログ

フェーダー	パラメータ
F1	エンベロープ・アタック（ENV Attack）
F2	エンベロープ・リリース（ENV Release）
F3	アタック（Attack）
F4	リリース（Release）
F4	LFO レート（LFO Rate）
F6	LFO2 レート（LFO Rate）
F7	ノイズ・カラー（Noise Color）
F8	ノイズ・ボリューム（Noise Volume）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	LowBand モード（LowBand Mode）
F11	HighBand モード（HighBand Mode）
F12	キーボード・モード（Kybd Mode）
F13	ユニゾン（Unison）
F14	LFO 波形（LFO Waveform）
F15	LFO2 波形（LFO2 Waveform）
F16	アンサンブル（Ensemble）
F17	利用不可
F18	利用不可

EVP88

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	EQ トレブル（EQ Treble）
E2	EQ ベース（EQ Bass）
E3	ドライブ・ゲイン（Drive Gain）
E4	ドライブ・トーン（Drive Tone）
E5	フェイザー・レート（Phaser Rate）
E6	トレモロ・レート（Tremolo Rate）
E7	トレモロ強度（Tremolo Intensity）
E8	コーラス強度（Chorus Intensity）

フェーダー	パラメータ
F1	ディケイ（Decay）
F2	リリース（Release）
F3	ベル・ボリューム（Bell Volume）
F4	ダンパー・ボリューム（Damper Volume）
F4	ステレオ強度（Stereo Intensity）
F6	ロワー・ストレッチ（Lower Stretch）
F7	アッパー・ストレッチ（Upper Stretch）
F8	ウォームス（Warmth）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	利用不可
F11	利用不可
F12	利用不可
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

EXS24

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタのカットオフ（Filter Cutoff）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	ドライブ（Drive）
E4	フィルタ・キー・トラッキング（Filter Key Tracking）
E5	グライド時間（Glide Time）
E6	ピッチャー（Pitcher）
E7	ベロシティによるピッチャー（Pitcher via Velocity）
E8	ベロシティによるレベル（Level via Velocity）

フェーダー	パラメータ
F1	エンベロープ・アタック（ENV1 Attack）
F2	エンベロープ・ディケイ（ENV1 Decay）
F3	エンベロープ・サステイン（ENV1 Sustain）
F4	エンベロープ・リリース（ENV1 Release）
F4	エンベロープ・アタック（ENV2 Attack）
F6	エンベロープ・ディケイ（ENV2 Decay）
F7	エンベロープ・サステイン（ENV2 Sustain）
F8	エンベロープ・リリース（ENV2 Release）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	フィルタの種類（Filter Type）
F11	フィルタ・ファット（Filter Fat）
F12	フィルタのオン / オフ（Filter On/Off）
F13	LFO1 波（LFO1 Wave）
F14	LFO2 波（LFO2 Wave）
F15	ユニゾン（Unison）
F16	モノ・モード（Mono Mode）
F17	利用不可
F18	利用不可

メトロノームサウンドジェネレータ（Klopfgeist）

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	調性（Tonality）
E2	ノート・オフ・ダンプ（Note Off Damp）
E3	チューン（Tune）
E4	デチューン（Detune）
E5	モード
E6	利用不可
E7	利用不可
E8	レベル最小ベロシティ（Level Min Vel）

フェーダー	パラメータ
F1	利用不可
F2	利用不可
F3	利用不可
F4	利用不可
F4	利用不可
F6	利用不可
F7	利用不可
F8	利用不可
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	利用不可
F11	利用不可
F12	利用不可
F13	利用不可
F14	利用不可
F15	利用不可
F16	利用不可
F17	利用不可
F18	利用不可

スカルプチャ（Sculpture）

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタのカットオフ（Filter Cutoff）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	ストリングの共振（String Resonance）
E4	ストリング・メディアの損失（String Media Loss）
E5	ストリング・テンション・モジュレーション（String Tension Modulation）
E6	EQ 低（EQ Low）
E7	EQ 中（EQ Mid）
E8	EQ 高（EQ High）

フェーダー	パラメータ
F1	アンプ・エンベロープ・アタック・ハード（Amp Env Attack Hard）
F2	アンプ・エンベロープ・アタック・ソフト（Amp Env Attack Soft）
F3	アンプ・エンベロープ・ディケイ（Amp Env Decay）
F4	アンプ・エンベロープ・サステイン（Amp Env Sustain）
F4	アンプ・エンベロープ・リリース（Amp Env Release）
F6	ディケイ・ウェット・レベル（Delay Wet Level）
F7	ディケイ・フィードバック（Delay Feedback）
F8	ディケイ・クロス・フィード（Delay Cross Feed）
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	フィルタのオン / オフ（Filter On/Off）
F11	フィルタの種類（Filter Type）
F12	EQ オン / オフ（EQ On/Off）
F13	EQ モデル（EQ Model）
F14	ディレイのオン / オフ（Delay On/Off）
F15	ディレイ時間モード（Delay Time Mode）
F16	キーボード・モード（Kybd Mode）
F17	リミッタ・モード（Limiter Mode）
F18	利用不可

ウルトラ・ビート（Ultra Beat）

エンコーダ・ノブ	パラメータ
E1	フィルタのカットオフ（Filter Cutoff）
E2	フィルタの共振（Filter Resonance）
E3	クラッシュ・ドライブ（Crush Drive）
E4	クラッシュ・ダウンサンプル（Crush Downsample）
E5	クラッシュ・クリップ・レベル（Crush Clip Level）
E6	ノイズ・カットオフ（Noise Cutoff）
E7	ノイズ共振（Noise Resonance）
E8	ノイズ・ダート（Noise Dirt）

フェーダー	パラメータ
F1	オシレータ飽和（OSC1 Saturation）
F2	オシレータ非対称（OSC1 Asymmetry）
F3	オシレータ・スロープ（OSC1 Slope）
F4	オシレータ・ピッチ（OSC1 Pitch）
F4	ベロシティによるオシレータ・ピッチ（OSC1 Pitch via Vel）
F6	オシレータ・レベル（OSC1 Level）
F7	オシレータ・レベル・モジュレーション量（OSC1 LevelMod Amount）
F8	利用不可
F9	ボリューム（Volume）

フェーダー・ボタン	パラメータ
F10	オシレータのオン / オフ（OSC1 On/Off）
F11	オシレータの種類（OSC1 Type）
F12	レベル・ソース（Level Source）
F13	ノイズのオン / オフ（Noise On/Off）
F14	ノイズ・フィルタの種類（Noise Filter Type）
F15	利用不可
F16	シーケンサのオン / オフ（Sequencer On/Off）
F17	シーケンサの開始 / 停止（Start/Stop Sequencer）
F18	利用不可

Avid
5795 Martin Road
Irwindale, CA 91706-6211 USA

テクニカル・サポート（米国）
オンラインサポートセンター
（www.avid.com/support）（英語）
にアクセスしてください

製品情報
会社情報および製品情報については、
www.avid.com をご覧ください